

## 平成 27 年前期 学生による授業評価 講評

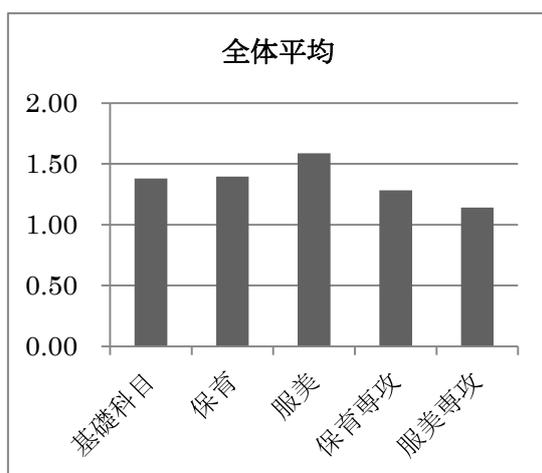
平成 27 年度前期の学生による授業評価結果の概要と講評を行い、授業改善のための基礎資料とする。

本稿の構成は、下記の通りである。

- 1 設問全体の平均値を基礎科目・学科・専攻ごとに比較
- 2 学科および専攻の学年別平均を比較
- 3 問 1～問 12 までの設問間の差を、学科・専攻ごとに比較
- 4 問 1～問 12 の設問ごとに、学科・専攻間の差を比較

なお、評価は 5 段階で行なわれ、1 が最も高く 5 が最も低い。

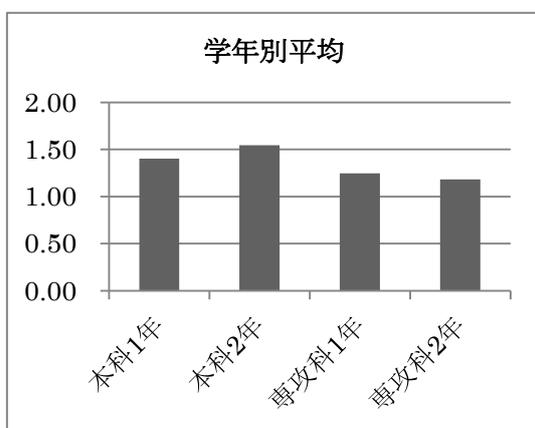
### 1 設問全体の平均値を基礎科目・学科・専攻ごとに比較



	基礎科目	保育	服美	保育専攻	服美専攻
全体平均	1.38	1.39	1.59	1.28	1.14

- ・評価尺度 1（最高）～5（最低）の間で、基礎科目、両学科、両専攻とも、平均値は 2 を超えておらず、肯定的評価の域内にある。
- ・全設問の平均値の比較では、服飾美術専攻が最も評価が高く、次いで保育臨床専攻が続き学科が続いており、専攻科のほうが本科より高評価であることがわかる。

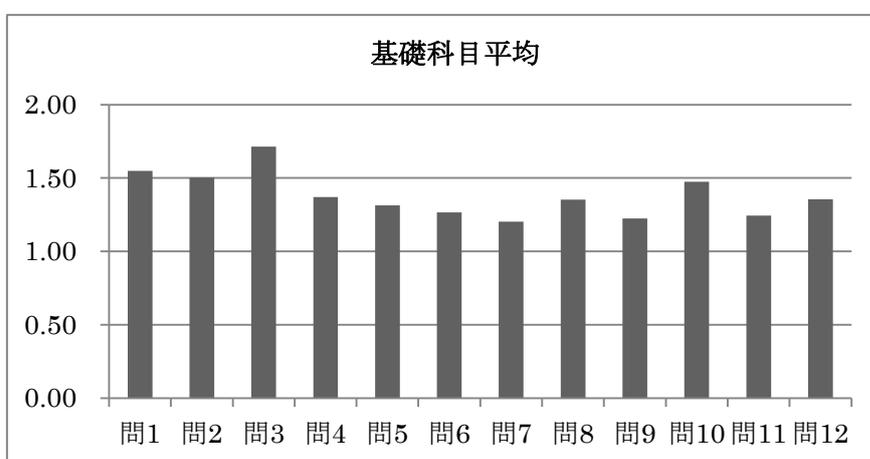
## 2 学科および専攻の学年別平均を比較



	本科 1 年	本科 2 年	専攻科 1 年	専攻科 2 年
学年別平均	1.40	1.55	1.24	1.18

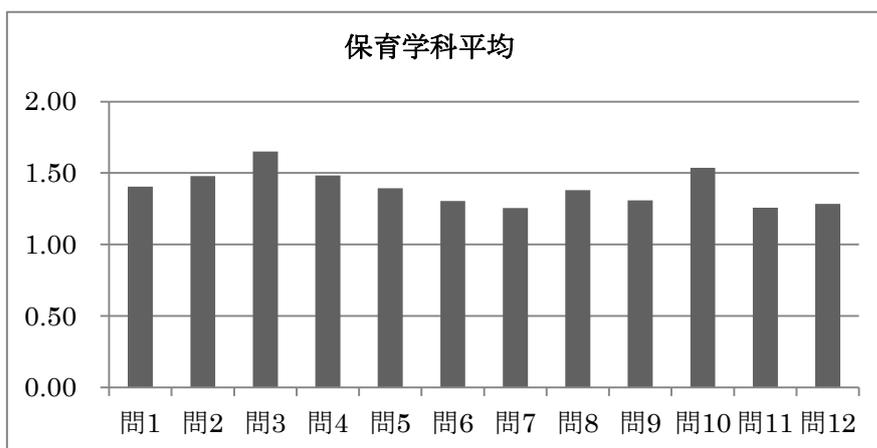
- ・いずれの学年も平均値は 2 を超えておらず、肯定的評価の域内にある。
- ・学年間の差はあまりない。

## 3 問 1 ～問 12 までの設問間の差を、学科・専攻ごとに比較



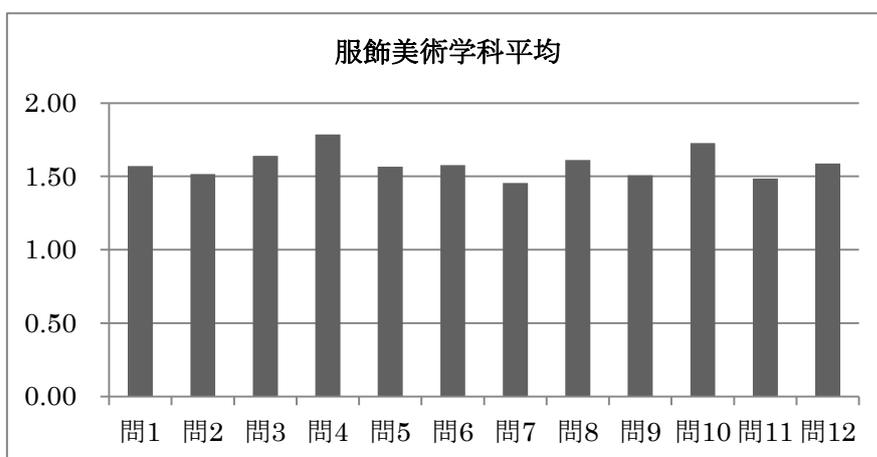
	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12
平均	1.55	1.50	1.71	1.37	1.31	1.27	1.20	1.35	1.22	1.47	1.24	1.36

- ・いずれの設問も平均値は 2 を超えておらず、肯定的評価の域内にある。
- ・基礎科目では、特に問 7（教員の授業準備）や問 9（授業時間）の評価が高く、問 3（課外学習）の評価が低い。



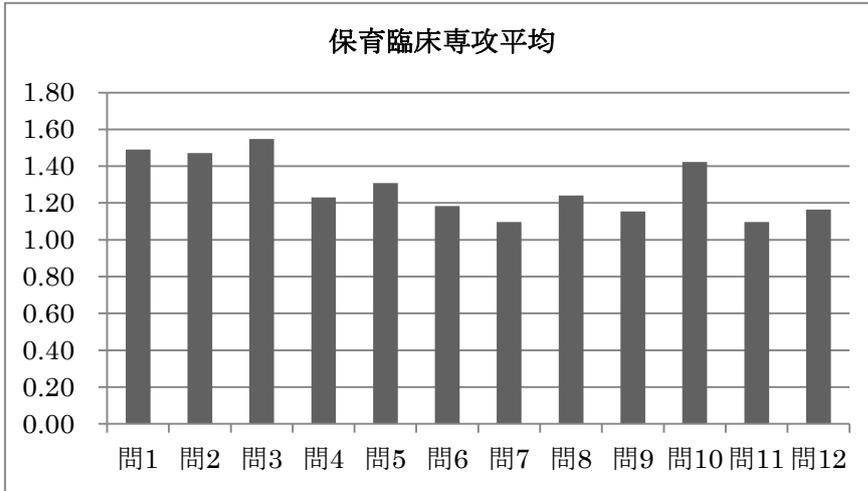
	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12
平均	1.40	1.48	1.65	1.48	1.39	1.31	1.25	1.38	1.31	1.54	1.26	1.28

- ・いずれの設問も平均値は 2 を超えておらず、肯定的評価の域内にある。
- ・保育学科でも問 7（教員の授業準備）や問 6（教育環境）の評価が高く、問 3（課外学習）の評価が低い。



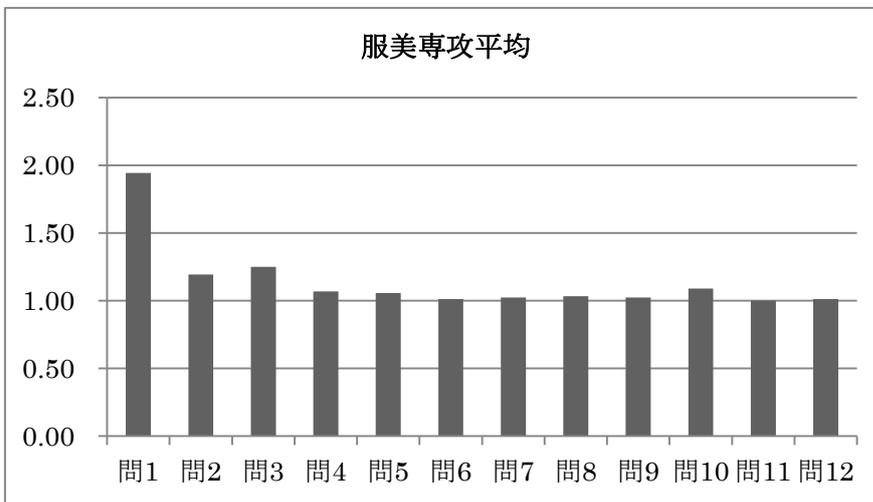
	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12
平均	1.57	1.52	1.64	1.79	1.57	1.58	1.46	1.61	1.51	1.73	1.49	1.59

- ・いずれの設問も平均値は 2 を超えておらず、肯定的評価の域内にある。
- ・服飾美術学科では、問 7（教員の授業準備）の評価がやや高く、問 4（教員の話し方）や問 10（内容理解）の評価がやや低い。



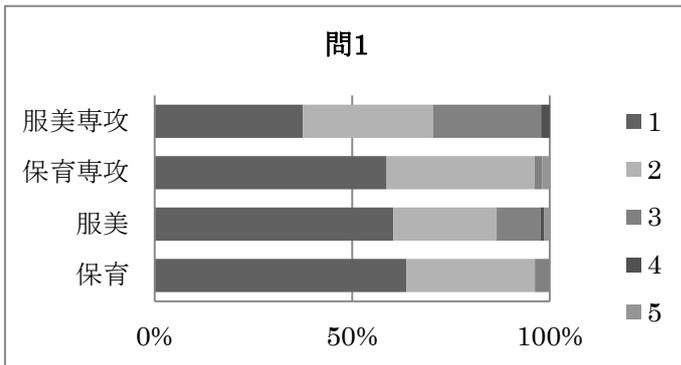
	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12
平均	1.49	1.47	1.55	1.23	1.31	1.18	1.10	1.24	1.15	1.42	1.10	1.16

- ・いずれの設問も平均値は 2 を超えておらず、肯定的評価の域内にある。
- ・保育臨床専攻では、問 7（教員の授業準備）や問 11（質問等への対応）の評価が高く、問 1（出席）、問 2（意欲）、問 3（課外学習）の評価がやや低い。

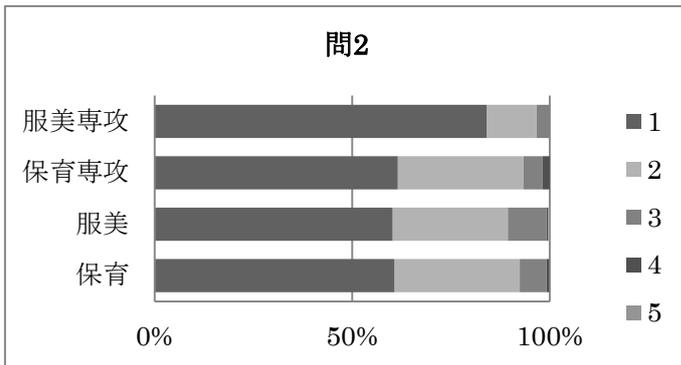


	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12
平均	1.94	1.19	1.25	1.07	1.06	1.01	1.02	1.03	1.02	1.09	1.00	1.01

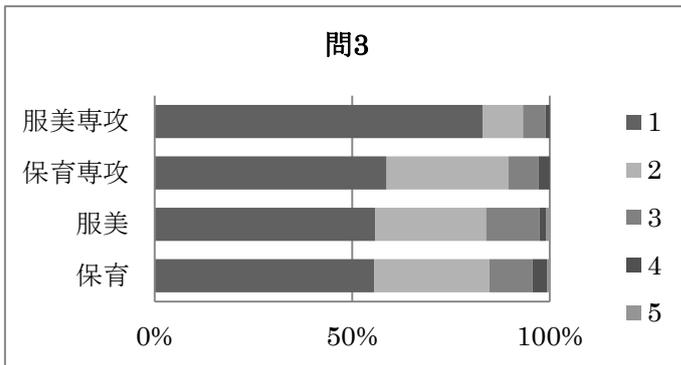
- ・ほとんどの設問の平均値がほぼ 1 であり、評価は非常に高い。
- ・問 1（出席）が相対的には評価が低い。



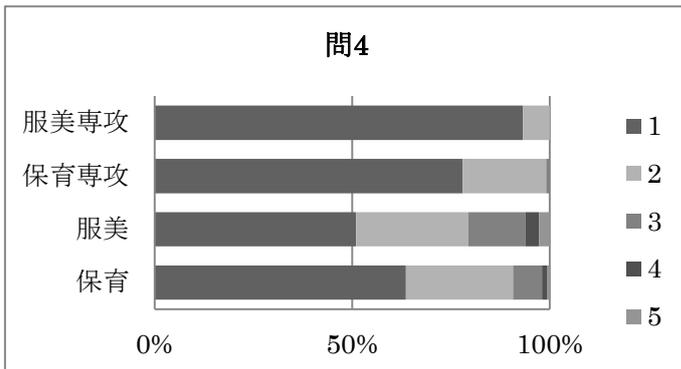
問 1「あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。」では、服美専攻以外は、すべてのグループで最も高い評価が過半数を占めている。



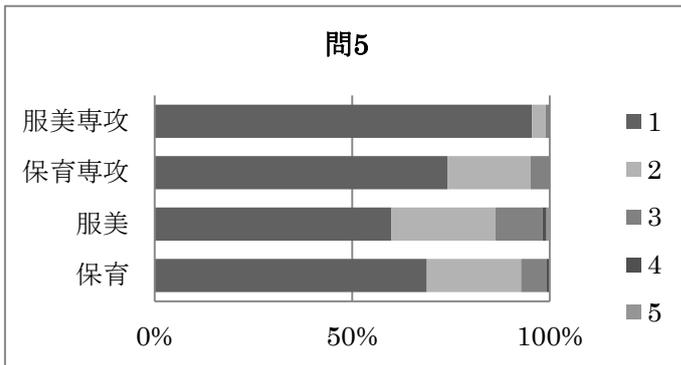
問 2「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。」では、すべてのグループで、最も高い評価が過半数を占めている。服美専攻の評価が特に高い。



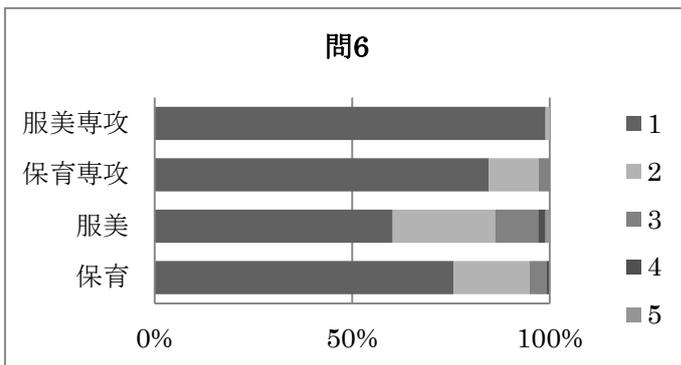
問 3「あなたは、授業時間以外で、この授業の予習・復習や宿題・課題・レポートなどに、積極的に取り組みましたか。」では、すべてのグループで、最も高い評価が過半数を占めている。服美専攻の評価が特に高い。



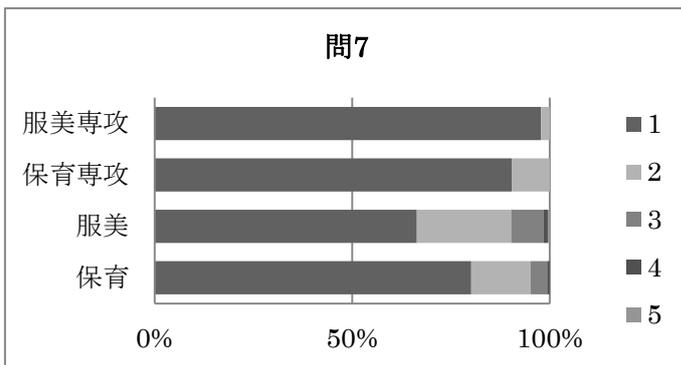
問 4「教員の話し方は、明瞭でわかり易いものでしたか。」では、専攻科の評価が高く、本科は比較的评价が低い。



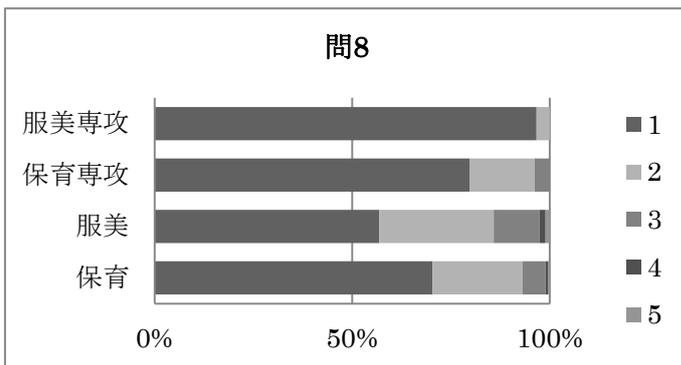
問5「使用テキスト、副教材（資料プリント等を含む）は、適切だと思いませんか。」では、すべてのグループで、最も高い評価が過半数を占めている。服美専攻の評価が特に高い。



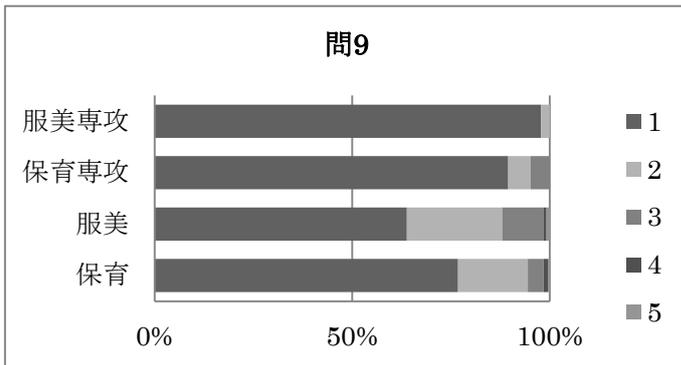
問6「授業を行う上での機器や機材等の教育的環境は、満足できるものでしたか。」では、すべてのグループで、最も高い評価が過半数を占めている。服美専攻の評価が特に高い。



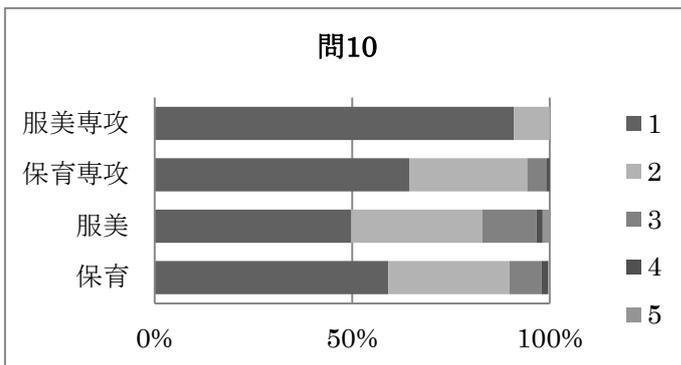
問7「教員は十分な授業の準備をして臨んでいたと感じましたか。」では、すべてのグループで、最も高い評価が過半数を占めている。両専攻および保育学科の評価が特に高い。



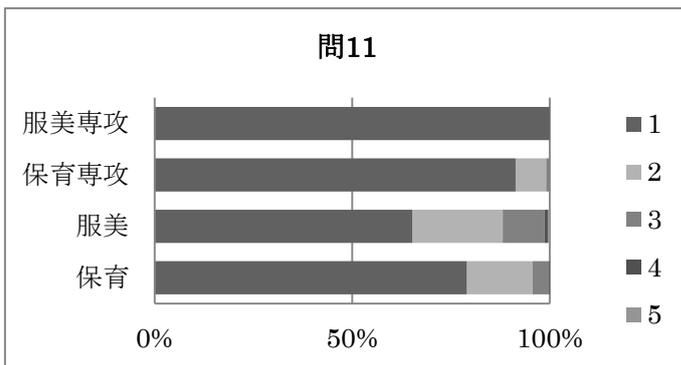
問8「授業内容をより良く理解させるための創意・工夫が感じられましたか。」では、すべてのグループで、最も高い評価が過半数を占めている。両専攻および保育学科の評価が特に高い。



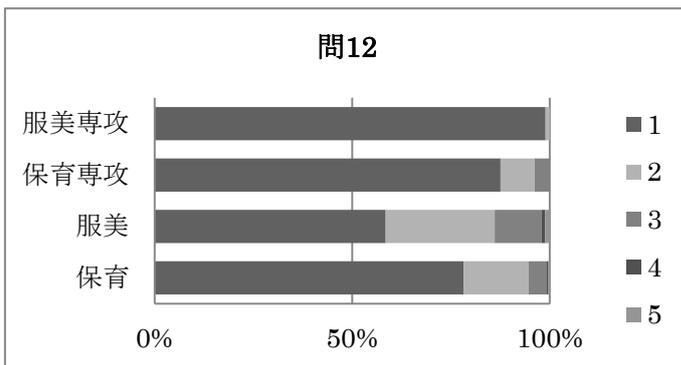
問 9「授業の特性を考慮した上で、授業の開始時間および終了時間は、満足できるものでしたか。」では、すべてのグループで、最も高い評価が過半数を占めている。両専攻および保育学科の評価が特に高い。



問 10「授業の内容は、十分に理解できましたか。」では、服美学科を除くすべてのグループで、最も高い評価が過半数を占めている。服美専攻の評価が特に高い。



問 11「教員は、学生からの授業内容や提出課題などの質問に適切に対応してくれましたか。」では、すべてのグループで、最も高い評価が過半数を占めている。服美専攻の評価が特に高い。



問 12「この授業内容について、他の人（とくに後輩たち）にも受講を薦めたいと思いましたが。」では、すべてのグループで、最も高い評価が過半数を占めている。両専攻の評価が特に高い。

**【課題】**

全体的に高い評価を得ており、学年間の差は小さい。学科間では、基礎科目と保育では課外学習に改善の余地があり、服美は教員の話し方にやや課題が見られる。また、小規模

校ゆえか、各種調査における学生の評価が甘くなる傾向があるとも考えられる。特に、少人数クラスでの評価が、適切な評価指標として機能しているかどうかを検証する必要がある。